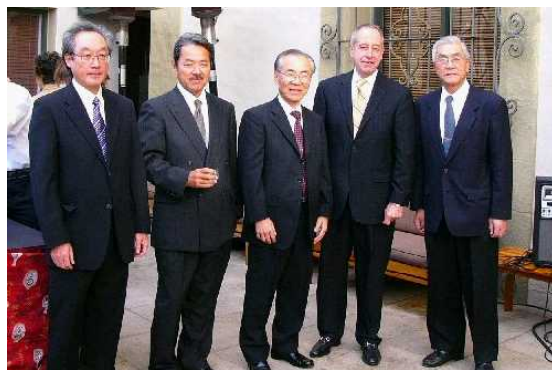


秋田の地酒、アメリカに挑戦！！

去る平成18年3月21日から7日間、県内蔵元4社、県、ジェットロ秋田は、米国へ輸出拡大のため訪米事業を行った。

ロサンゼルスでのイベント

日本食レストランの一番店と呼ばれるKATANAにおいて、"The Akita Sake Tasting"として、13社26種類の秋田酒を取り揃え、酒販店、レストラン、卸輸入業者、一般客など150人を集め、盛大にイベントを行った。



右から金井共同貿易社長、ノルズ市経済部長、野本在ロサンゼルス総領事、土屋ジェットロLA所長、佐藤県活き活き物産応援チームリーダー（ハリウッドKATANAにて）

入場者は資料と睨めっこしながら、テスティングを行い、どこで買えるか、どんな特徴に自信があるかなど積極的に質問していた。また、その場での商談も行われた。

県総合食品研究所の研究員が、秋田の酒の特徴や技術について、酒米や麹を手にとりプレゼンテーションを行い、興味を引いた。



ニューヨークでの活動

1万8000軒ものレストランがひしめくニューヨークで、全米・全世界の料理界の頂点に位置するシェフ、ブレイ氏。今回、業界で話題の氏の最新テストキッチンにおいて、ブレイグループのシェフ、ソムリエ11名、及びジャーナリスト2名招いて、秋田県産酒6社12銘柄のプライベートテスティング



を行った。料理の鉄人アメリカ版審査員の片山晶子氏も同席した。現在ブレイ氏は、辻調理学校との共同事業で日本料理・懐石レストランをオープン予定であるため、辻理事長を始め、主任教授や料理長など、スタッフが勢ぞろいして研究開発を行っている真っ最中であった。テスティングでは大変反響が良く、再度輸入業者だけを集めたテスティング、秋田県の蔵巡りと、醸造試験場で酵母開発者との面談をしたい、との申し入れを得た。

また、英語圏の日本食紹介の第一人者であるシンボ・ヒロコ氏の料理学校ヒロコズ・キッチンでも、招待客限定のプロ向けテスティングイベントを行った。非日系のレストランやメディア27名、日系レストラン関係者12名、日系メディア3名、計42名が参加した。



デビッド・ブレイ氏と訪問団の記念撮影。